

3Uラックサイズのバッテリーユニットは、使用用途に応じて最大7直列または、最大7並列接続することにより自在にUPS（無停電電源装置）や蓄電池（バッテリー給電）として、バッテリーシステムを構築できます。

RM1500-2640

UPS制御ユニット+増設バッテリーユニット



- あらゆる機器をサポートするハイパワーな1500W出力。（バッテリー給電として使用する場合）
- UPS起動時に商用電源が不要なコールドスタート機能搭載。
- 停電時にライン・インタラクティブ方式で瞬時にバッテリーより給電可能。
- 3Uラックマウント仕様で、各種キャビネットに収納可能。
- 脱着式LCDパネル装備。
- 多様な通信インターフェース機能（RS-485、RS-232C、Ether Net）等のオプションを追加することが可能。

RM1500-2640の主な仕様

| 型式 | | RM1500-2640 |
|-------------------|----------------|--|
| 入力 | 定格入力電圧 | AC100V |
| | 最大入力電流 | 15A |
| 出力 | 運転方式 | ラインインタラクティブ方式 |
| | 定格出力 | 2400VA/1500Wまで |
| | 出力波形 | 正弦波 |
| | 定格出力電圧 | バッテリー給電時:AC100V±5% |
| | 切替時間 | 20ms以内 |
| | 出力コネクタ数/形状 | 8口/NEMA 5-15R |
| 蓄電池 | 種類 | 酸化鉄リチウムイオンバッテリー |
| | 公称(定格)容量 | 2640(2400)Wh (52.8(48)V 50Ah) |
| | 充電時間(95%以上蓄電量) | AC負荷<40%(600W)の場合:約32時間 AC負荷>40%(600W)の場合:約38時間 |
| | 放電時間 | 1000W負荷時、約145分/500W負荷時、約290分 |
| 環境 | 使用環境 | 0~40℃、0~90%(結露なきこと) |
| | 保管環境 | 0~50℃、0~90%(結露なきこと) |
| 外形寸法 W×D×H(mm) | UPS本体 | 440×470×132 |
| | バッテリーケース | 440×470×132 |
| 製品質量(kg) | UPS本体 | 約22 |
| | バッテリーケース | 約33 |
| 同梱品 | AC電源コード | 3極(設置極付き)コード長:180±10cm×1本 |
| | 取付け金具 | 取付け金具・取手×2セット |

機器の接続本製品の最大出力はご使用方法によって変わります。電源コードを接続し、UPS（無停電電源装置）としてご使用される場合の最大出力容量は1200W以下になります。また、本製品を蓄電池（バッテリー給電）としてご使用する場合の最大出力容量は、1500W以下になります。

K348050-A0000

増設バッテリーユニット



- 使用用途に応じて、最大7直列または、最大7並列接続可能。
- 爆発・引火の恐れがない、安全な酸化鉄リチウムイオン電池搭載。
- 3Uラックマウント仕様で、各種キャビネットに収納可能。
- 各種通信インターフェース機能（RS-485、RS-232C、トランジスタ出力）や温度センサー等のオプションを追加することが可能。

K348050-A0000の主な仕様

| 型式 | | K348050-A0000 | |
|---------------|----------------------|--|---|
| 基本仕様 | 公称(定格)電圧/容量 | 50Ah電池パックバージョン:52.8(48)V/50Ah/2640(2400)Wh組電池 | |
| | 素電池(セル)型式 | 3.3V酸化鉄リチウムイオン電池(自然放電率:<3%/月) | |
| | 組電池構成 | 16S3P(16直列3並列) | |
| 電池セル安全性試験 | 方式 | ・SBA S1101:2011-07-29 ・UL1642 ・IEC62133 ・電池セルの空輸許可試験 UN38.3 | 自主試験 ・釘刺し、外部短絡、130℃加熱 5V&12V過充電などの試験合格 ・自主試験Cell落下試験合格 |
| | | 監視・保護内容 | 電池セル過充電保護 電池セル過放電保護 電池セルバランス 高温保護(パック内部温度65℃以上) |
| BMS 安全保護機能 | 消費電流※ | 稼働時:通常 7mA、最大 12mA 保管時:約0.6mA (BMSスイッチオフ時…UPS電源と連動) | |
| | 外形寸法 W×D×H(mm) | 440×470×132 | |
| 製品質量(kg) | 約33 | | |
| 入出力端子 | アンダーソンパワー(AMP)互換コネクタ | | |

※長期保管前は、満充電してください。また、6ヶ月~1年に1回補充充電してください。

活用例



19インチAVラックへ設置して緊急時のUPS電源として、放送設備と連動することができます。



新規システム導入だけでなく、既設の19インチラックへも容易に設置できます。



キャビネットにいれ、7直列接続することにより、30kVAの蓄電システムの構築ができます。